



シャープ株式会社

2025年12月19日現在

対応車種一覧（マツダ株式会社）

EV用コンバータ（JH-WE2301）と対応する車種の一覧を掲載しています。

- 接続可能車種および各項目については下記をご確認ください。
- 今後発売される車種については、全てが接続できるわけではありません。対応車種は、今後も順次追加してまいります。
- EVの機能や名称等に関して不明な物がある場合はご使用になる前に、必ずEVの取扱説明書をご確認ください。
- EV接続中は車両側でも各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために、電力を消費する場合があります。消費を抑えたい場合には、EVと接続解除して、充放電コネクタをEVの給電口から取り外してください。

■マツダ株式会社

車名	型式	年式	総電力量 ^{※1}	充電上限 ^{※2}	放電下限 ^{※3}	停電時起動用ケーブル	自動ロック機能有無 ^{※4※5}
MAZDA MX-30 EV MODEL	ZAA-DRH3R	2024年11月式～ 2025年3月式	35.5kWh	約100%	約10%	要	有
	ZAA-DRH3P	2022年10月式～ 2024年10月式 ^{※6}					
MAZDA MX-30 ROTARY-EV	3LA-DR8V3R	2024年12月式～	17.8kWh	約100%	約0%	要	有
	3LA-DR8V3P	2023年11月式～ 2024年11月式 ^{※7}					
MAZDA CX-60 PHEV	5LA-KH5S3P	2022年12月式～	17.8kWh	約100%	約0%	要	有
MAZDA CX-80 PHEV	5LA-KL5S3P	2024年10月式～	17.8kWh	約100%	約0%	要	有

※1 総電力量はV2Hシステム接続時の実使用可能容量とは異なります。

※2 車両側の急速充電の上限SOCは100%に設定してご使用ください。

※3 車両の蓄電池残量が車両の放電下限付近まで低下すると、コネクタロックを解除する場合があります。その場合は、EV用コンバータから手動充電をお試しください。手動充電を行ってもコネクタロックが解除されてしまう場合は、30%以上まで充電を行うなどの対応が必要になります。自動運転時にコネクタロック解除が頻繁に発生する場合は、本システムのV2H放電下限の設定を30%以上にしてご使用ください。

※4 充放電コネクタを接続後、運転開始操作なしでEV接続が可能となる機能になります。太陽電池モジュールで日中発電がなく蓄電池もない場合、本機能は無効となります。

※5 車両がスリープモードに移行している場合、自動ロック機能は利用できません。車両を起動させたのちに充放電コネクタを車両に差し込んでください。

※6 V2H対応車両（車台番号：DRH3P-150001以降）が対象となります。

※7 車両のプログラムを最新にしていただく必要があります。詳しくは、マツダ販売店をご確認ください。

[自動車に関するお問い合わせ]

・マツダ株式会社 ホームページ (<https://www.mazda.co.jp/>)

マツダコールセンター 0120-386-919 受付時間：平日 9:00～17:00

土日祝 9:00～12:00、13:00～17:00

▶ 対応車種一覧のTOPページは[こちら](#)